

委員会レポート

庁舎建設等調査特別委員会

Q 乳酸菌飲料配布事業は週3日配布のため一度に数本届く。改善する考えは。

A 乳酸菌飲料配布事業は安否確認の方法のひとつであり、今後も週3日配布で行なっていきたい。

Q 旧火葬場の現状と跡地の利用は。

A 解体が終わり、更地となった。土壌調査は行なっておらず、現在は普通財産である。

Q 側溝や舗装の地域要望に対して、何%施行できたか。

A 側溝工事で要望の31・7%、舗装工事で要望の30・0%の施工率だった。

第6回の庁舎建設等調査特別委員会を、平成24年8月14日に開催しました。

統合庁舎建設・改修実施設計について及び支所整備についての詳細な説明と、前回の委員会などの意見を参考に配置図などの修正を行った部分について説明をつけ次のような質疑応答がありました。

Q 前回の庁舎建設等調査特別委員会からどこに1番のポイントを置いて予算の見直しをしたのか。

A 使えるものは使っていくという考え方で、少しでもコストを縮減することを1番に計画している。

Q 事業費35億円から41億円になったその考え方は。

A 増築棟と既存棟の解体・改修をあわせて、35億円以内におさめた。その他、外構・附属建屋・建築設備等をあわせると、41億1千万円とな

った。

Q 耐用年数100年についてコスト的にはどうか。

A コスト的には維持管理費を抑えるように設計を進めている。

Q 永和出張所の取り扱いについて、住民サービスという観点から存続すべきではないか。

A 永和出張所は廃止するが、別のサービスを検討していく。

